







2024年6月4日

女子体操競技情報 33 号の補足について(通知)

(公財)日本体操協会
審判委員会体操競技女子審判本部

先般、女子体操競技情報 33 号を通達させていただきましたが、国際体操連盟(FIG)より 5 月 23 日付けで採点規則 2022 年版ヘルプデスクの最新版(Edition3)が配信されたことを受け、女子体操競技情報 33 号の補足として現在国内で販売をしているヘルプデスク 2022 年版の追加内容を通知させていただきます。今回 FIG から公開された内容は、採点規則 2022 年版のルールの変更点の通達はなく、主に女子体操競技情報 33 号で国内通達した採点規則 2022 年版の補足説明の内容になります。すでに女子体操競技情報 33 号で通達している内容も含まれておりますが、現在お手元にあるヘルプデスクに情報を追加していただき、ご活用ください。

| 頁 | 章・節 | 新たな追加項目 |
|------------|------------------|---|
| Page 8 | 7.2.1 技の難度の承認 | <ul style="list-style-type: none"> • 1.00 より高い難度点を与えられる技はない。(落下の減点と関連する) • 平均台とゆかのダンス系の技の最大の難度は E 難度を超えることはできない。 • ひねりを伴う 2 回宙返りで 90 度以上のひねり不足があった場合、難度表の異なる技と判断する原則を適用する。 (動画) https://youtu.be/WwnpMQm_PkU  |
| Page 58 | 内容のない振りと中間振動 | Example 3  (動画) https://youtu.be/Og0ZKdlMGkc  注釈: 例3 – 前方または後方車輪が倒立(10 度以内)に到達しない場合は難度なし。 その後に落下があった場合、組み合わせ点(CV)は与えられない。 |
| Page 65 | 難度点の承認について | Example 3   (動画) https://youtu.be/2XNdoB34qb8 <ul style="list-style-type: none"> • もし、両足で棒を蹴ってから実施した場合、難度なし、構成要求なし、組み合わせ点なし • 「演技こそぐわない技」の減点は適用しない |
| Page 68 | 難度点の承認について | 2.404 前方浮支持回転倒立、または½ひねり と 2.405 前方浮支持回転倒立1回ひねり  <ul style="list-style-type: none"> - 技の終わりに開脚倒立を実施した場合、ひねりを伴う、伴わないに関わらず難度は1つ下がる。 |

| 頁 | 章・節 | 新たな追加項目 |
|------------|--------------------|--|
| Page 74 | 12.6 種目特有な実施 減点 | <p>落下を防ぐために平均台をつかむ:-0.50</p>  <p>(動画) https://youtu.be/ej8cFN3p_fQ</p> <p>例 1: D 審判団 難度を与える E 審判団 -0.50</p> <p>例 2: D 審判団 難度を与える E 審判団 -1.00(器械上での落下)</p>  |
| Page 78 | 技の承認のためのガイドライン | <p>原則: 横向きジャンプは、縦向きでの実施より1つ高い難度が与えられる。 しかし、縦向きと横向きで実施しても難度は実施された順に1回のみ与えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • (追加) 横向きで実施された輪とびの難度は承認されない。 |
| Page 79 | 技の承認のためのガイドライン | <p>4.306 伸身姿勢で横転</p>  <ul style="list-style-type: none"> • C 難度を獲得するためには、手で支持することなく、腰背中～腹～腰背中、または腹～腰背中～腹の回転でなければならず、そうでなければ難度なしと判断される。 |
| Page 80 | 技の承認のためのガイドライン | <p>4.307 台をまたいだ座または左右開脚座から開脚伸身で横転の承認要求</p>  <p>(動画) https://youtu.be/rglLlCLArzg</p>  <ul style="list-style-type: none"> • C 難度を獲得するためには、少なくとも仰向けの状態の時には手で支持することなく回転しなければならない。 • 仰向けの状態の時に台をつかんで実施した場合は、4.206 B 難度の技として承認する。 • 腰(背中)の位置で回転させなければ(腰/背中が台に接する)難度なしと判断する。この場合、「台に接する平均台に近い動き」として使用することができる。 |
| Page 80 | 技の承認のためのガイドライン | <p>5.612 後方かかえ込み宙返り1回ひねり & 5.712 後方伸身宙返り1回ひねり</p> <ul style="list-style-type: none"> • 技の難度が下がる原則や異なる技と承認する原則はこの技には適用されない。 • E 審判団は正確さの減点を適用する。 |



THE WOMEN'S ARTISTIC GYMNASTICS HELP DESK 2022-2024

7.2.1 技の難度の承認

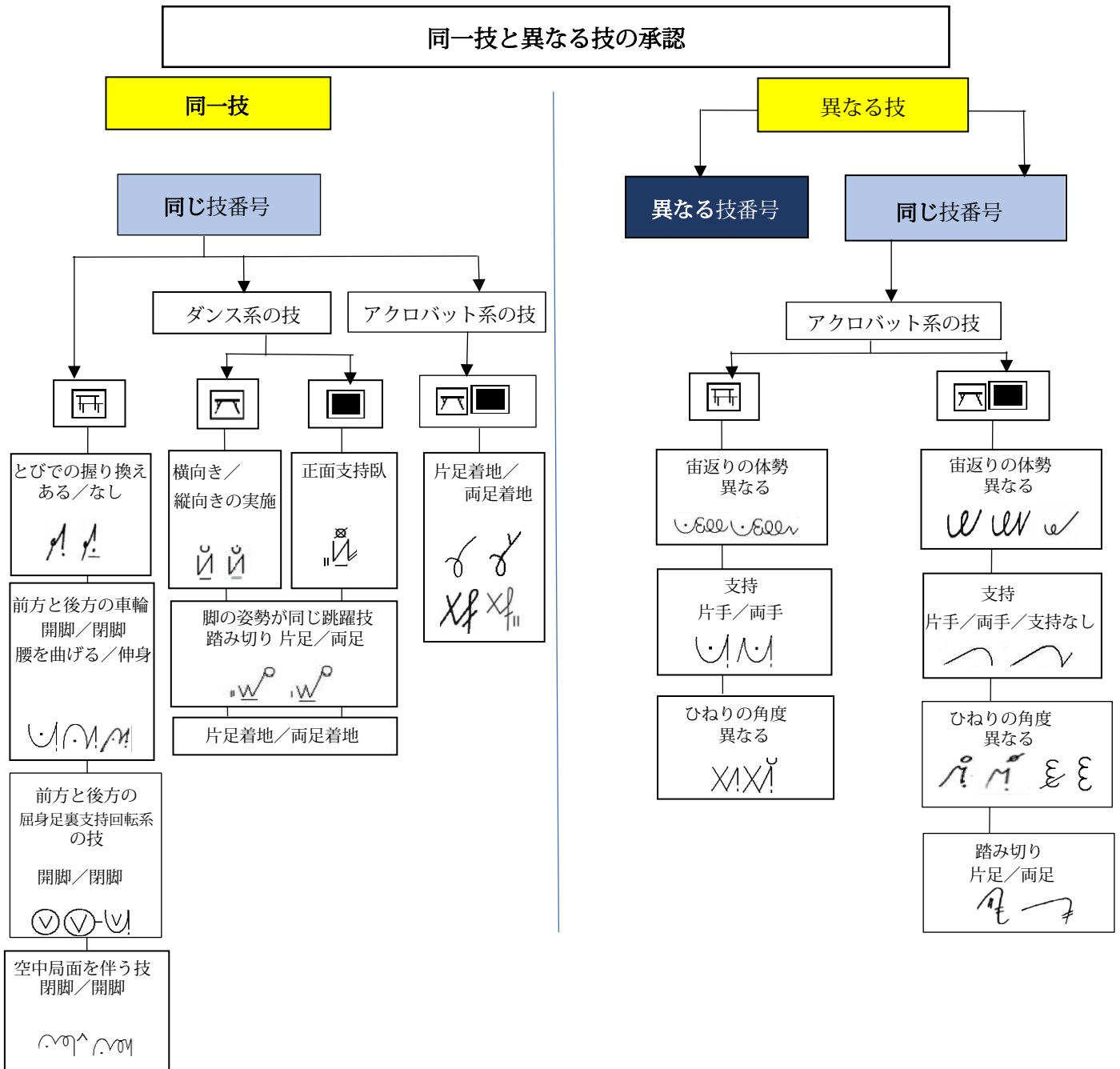
原則:



- 1.00より高い難度点を与えられる技はない。(落下の減点と関連する)
- 平均台とゆかのダンス系の技の最大の難度はE難度を超えることはできない。
- ひねりを伴う2回宙返りで90度以上のひねり不足があった場合、難度表の異なる技と判断する原則を適用する。



原則



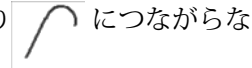
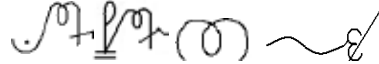
段違い平行棒：デルチェフ宙返りとギンガー宙返りは宙返りの方向が異なるため、異なる技とみなされる。



THE WOMEN'S ARTISTIC GYMNASTICS HELP DESK 2022-2024

-内容のない振りと中間振動：0.50

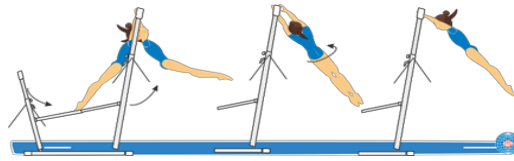
内容のない振り=反対方向に振れ戻る前の、難度表にある技の実施を伴わない前振り／後ろ振り
1回ひねりを伴うまたは伴わない「シャポシニコヴァ」系の技で、け上がりにつながらない場合や以下の技を除く。



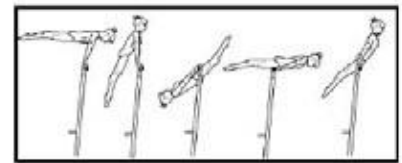
Example



前方または後方車輪3/4



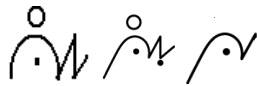
水平より下のスイング1/2ひねり



後方支持回転のあと

- もし、**内容のない振り**や**中間振動**が2つの技の間、または**2つ目の技**または最後の技の後に実施された場合、組み合わせ点は与えられない。

Example 1



Example 2



Example 3



注釈：


例 1- 大逆手車輪が倒立局面 (10°以内) に到達しなかったため、これは内容のない振り(0.50)とみなされる。
組み合わせ点は与えられない (E+E)。

例 2 - シャポシニコヴァの後にけ上りを実施した場合、内容のない振りとみなされる。

例 3 - 前方または後方車輪が倒立 (10度以内) に到達しない場合は難度なし。その後に落下があった場合、組み合わせ点 (CV) は与えられない。



- 1/2 (180°)ひねりを伴うシャポシニコヴァ系の技は、他の技に許容される「内容のない振り」の例外の規則に当てはまらない。
1回ひねり(360°)を伴うまたは伴わないシャポシニコヴァ系の技のみに適用する。

- もし、 とシャポシニコヴァ系の技のあとの後ろ振りが水平に到達していなかった場合、0.10の減点を適用する。





THE WOMEN'S ARTISTIC GYMNASTICS HELP DESK 2022-2024

技の承認のガイドライン

低棒から高棒へ移動する空中局面を伴う技

判断：低棒から高棒へ移動する空中局面を伴う技の最高難度点はE難度までである。



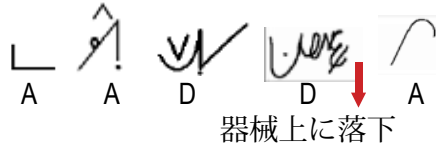
空中局面を伴わないひねりを伴う倒立の技

判断：空中局面を伴わないひねりを伴う倒立の技の最高難度点はE難度までである。



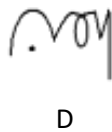
難度点の承認について

Example 1



- ギンガー宙返りの難度点は認められるが、器械上に落下しているため組み合わせ点は認められない。
- 落下後にコーチが選手に触れても減点は適用されない。
- 減点項目： -空中局面を伴う技の高さ0.10
-回転不足 0.10
-腕の曲がり0.30

Example 2



- 屈身イーガー宙返りで先に脚が棒上に乗ってしまった場合、難度なし。

Example 3



- もし、両足で棒を蹴ってから実施した場合、難度なし、構成要求なし、組み合わせ点なし。
- 「演技にそぐわない技」の減点は適用しない。

特定の技

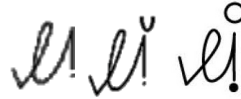
➤ これらの技は難度表にはないが、もし実施された場合 として承認するかまたは、身体のひねりがなく手のみ握り替えている場合 として承認する。

➤ これらの技は と同一技とみなす。



THE WOMEN'S ARTISTIC GYMNASTICS HELP DESK 2022-2024

技番号 2.404 (前方浮支持回転倒立、または1/2ひねり)
2.504 (前方浮支持回転倒立1回ひねり)



-技の終わりに開脚倒立を実施した場合、ひねりを伴う、伴わないに関わらず：
難度は1つ下がる。

前方系の技の組み合わせ

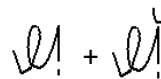


もし、選手が前方系の技を実施した際、垂直の前45度より上で技が完了してしまったが、垂直軸(棒の上)を越えて別の前方系の技に続けられた場合は、意図した難度点を与えられ、正確さの減点となる。

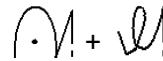


最初の技の終了姿勢



Example 1

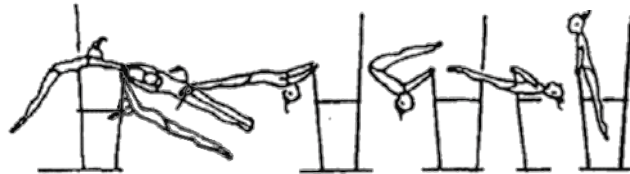
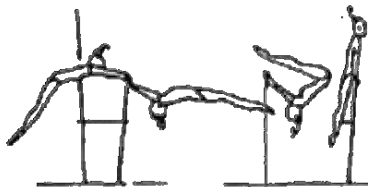




Example 2



技番号1.101

低棒け上がり  と前振り出し1/2ひねり低棒け上がり  は異なる技である。



前振り出し1/2ひねり低棒け上がり(1.101)  と、前とび1/2ひねり低棒け上がり(1.102),  は異なる技である。

したがって、選手は演技の中で、開始技(1.102)、低棒け上がり(1.101)、前振り出し1/2ひねり～低棒け上がり(1.101)の3つの技を実施することができる。



THE WOMEN'S ARTISTIC GYMNASTICS HELP DESK 2022-2024

- 偏った技の使用：
演技全体で1回より多い脚の伸びた両足上の1/2ターン：
- 演技全体で-0.10



わずかに膝を曲げる
またはしゃがみ立ち
は減点の対象にならない



OK



OK

12.6 種目特有な実施減点 (E審判団)

- 調整(振り付けのない踏み出しや不必要な動き)：各-0.10
- 停止(2秒で適用)：各-0.10
- 平均を保つための余分な動き：-0.10/-0.30/-0.50
 - わずかなバランスの欠如：0.10
 - 頭が腰の高さ、または複数のわずかな動き：0.30
 - 身体/脚の大きな動き：0.50



- 落下を防ぐために平均台をつかむ：-0.50

Example 1

D- 審判団: 難度を与える



E- 審判団: -0.50

Example 2

D- 審判団: 難度を与える



E- 審判団: -1.00 器械上での落下



1つの技の中で複数の過失が発生した場合の最大の減点

バランスの欠如 + 手で触れるまたは平均台をつかむ

- バランス 0.10 + 触れる 0.30 = 0.40 P
- バランス 0.30 + 触れる 0.30 = 0.60 P
- バランス 0.50 + 触れる 0.30 = 0.80 P

- バランス 0.10 + つかむ 0.50 = 0.60 P
- バランス 0.30 + つかむ 0.50 = 0.80 P
- バランス 0.50 + つかむ 0.50 = 0.80 P

- 深いしゃがみ立ち 0.50 + バランス 0.10 = 0.60 P
- 深いしゃがみ立ち 0.50 + バランス 0.50 = 0.80 P
- 深いしゃがみ立ち 0.50 + ステップ (0.30 + 0.10) = 0.80 P



- しゃがみ立ちターンの後バランスを崩した場合

- 減点0.10/0.30/0.50 (バランスの欠如)を適用する

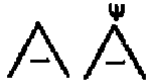




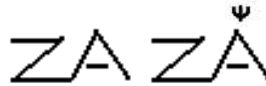
THE WOMEN'S ARTISTIC GYMNASTICS HELP DESK 2022-2024

技の承認のためのガイドライン

原則：ダンス系の技のリープ／ホップ／ジャンプに1/4ひねりを追加しても異なる技にはならない。



¼ひねり = ひねりなし



¼ひねり = ひねりなし



¾ひねり = ½ひねり

原則：横向きのジャンプは、縦向きでの実施より1つ高い難度が与えられる。
しかし、縦向きと横向きで実施しても難度は実施された順に1回のみ与えられる。



½ひねり(180度)を伴うジャンプ、リープ、ホップでは、ひねりのはじめまたは終わりに規定された姿勢に達していなければならない。



縦向きでの実施-D難度



横向きでの実施-E難度



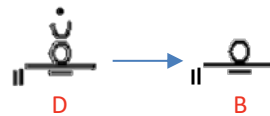
縦向きでの実施-B難度



横向きでの実施-C難度



- 横向きで始まり縦向きで終了する、またはその逆も縦向きの実施とみなされ、より高い難度は与えられない。
- 横向きで実施したジャンプがひねりを完了できなかった場合、縦向きのジャンプと承認される。



● 横向きで実施された輪とびの難度は承認されない。

2.108 シソヌ



- 前後開脚は斜めでなければならず(脚はゆか／平均台に対し平行ではない)、前方へ移動し、片足で着地しなければならない。
- もし、前脚が水平まで上がり片足で着地した場合、シソヌとして承認し、身体の姿勢の減点を適用する。
- もし、両足で着地した場合、前後開脚とびとして承認する。



THE WOMEN'S ARTISTIC GYMNASTICS HELP DESK 2022-2024

| | 欠点 | 身体の姿勢の減点 |
|--|--------------------------|---|
| | 脚の位置が不正確 (前脚の位置が高すぎる) | 片足着地の場合、シソヌとして承認し、 身体の姿勢の減点 -0.10 |
| | | 両足着地の場合、両足踏み切り、前後開脚とびとして承認し、 前後開脚とびに関わる減点を適用する |

技番号 2.208 と 2.408

- 片足着台の場合、常に2.208輪とび(ジャンプ) として承認する。
- 両足着台で、前脚が45°までの場合、2.208輪とび(ジャンプ) として承認する。
- 両足着台で、前脚が45°より上にある場合は、2.408前後開脚とびから輪 として承認し、身体の姿勢の減点を適用する。

技番号 4.108 (3番目の技)チックタック

- 前方系の技として扱う。

技番号 4.305 難度の承認要求

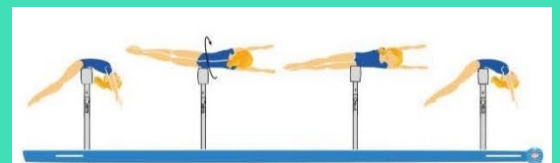
- 両脚を閉じて倒立に到達しなければならない。
- 垂直より10°以内であればC難度を与え、10°を超えた場合は後転 A難度として承認する。
(台上で支持をして、片足または両足の着台があれば構成要求2は満たすことができる)



DV-A

技番号 4.306

•C難度を獲得するためには、手で支持することなく、腰/背中～腹～腰/背中、または腹～腰/背中～腹の回転でなければならず、そうでなければ難度なしと判断される。






THE WOMEN'S ARTISTIC GYMNASTICS HELP DESK 2022-2024

技番号 4.307 承認要求



- C難度を獲得するためには、少なくとも仰向けの状態の時には手で支持することなく回転しなければならない。
- 仰向けの状態の時に台をつかんで実施した場合は、**4.206B**難度の技として承認する。
- 腰（背中）の位置で回転させなければ（腰／背中が台に接する）難度なしと判断する。この場合、「台に接する平均台に近い動き」として使用することができる。

技番号 4.310 (2番目の技) Garrison

- 身体を水平に引き上げ、明確に支持している状態を見せなければならない。もし、水平より低ければ難度なし。
- 後方系のアクロバット系の技として構成要求を満たすことができる。

技番号 5.201

- リバウンドの組み合わせでは、宙返りを実施するためにスピードをつける必要があるため、前転とびは常にB難度の技としてみなされる。アクロバット系シリーズは承認される。
- もし、前転とびの後にリバウンドの組み合わせがない場合は、空中局面が見られなければならない。

技番号 5.408



- 片足着地と両足着地は同一技。

技番号 5.408




- アウエルバッハ側方開脚伸身宙返り(5.408)と片足踏み切り、側方開脚伸身宙返りは同一技。

技番号 5.409




- アウエルバッハ前方開脚伸身宙返り(5.409)と片足踏み切り、前方開脚伸身宙返りは同一技。

技番号 5.411

- 片脚が伸びた場合も側方かかえ込み宙返りと承認し、不正確なかかえ込み姿勢の減点(0.30)をする。
- 両脚が伸びている場合は、片足踏み切り側方開脚伸身宙返り  と承認する。
- 着台足が平均台の一直線上に位置し、身体が明らかに縦向きであった場合、片足踏み切り、側方開脚伸身宙返りと承認する。



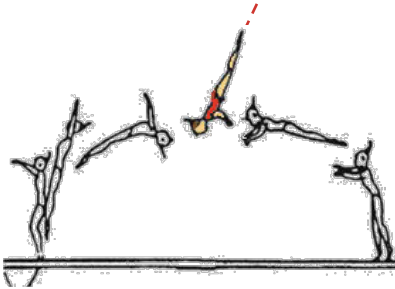
技番号 5.612 & 5.712

- 技の難度が下がる原則や異なる技と承認する原則はこの技には適用されない。 
- E審判団は正確さの減点を適用する。



THE WOMEN'S ARTISTIC GYMNASTICS HELP DESK 2022-2024

BB：伸身宙返りにおける伸身姿勢の承認のためのガイドライン *e//*



E難度の承認-宙返りの回転のはじめから終わりまで伸身姿勢を見せなければならない。着地準備の中で伸身姿勢は、垂直からおおよそ30度まで保たなければならない。(垂直を越えた後、肩の回転を見せなければならない)もし、それよりも前に屈身姿勢が見えた場合は、屈身宙返り(C難度)と承認する。

屈身宙返り(不正確な屈身姿勢-0.10)または伸身宙返り(伸身姿勢を保てない-0.10)に対して適切な減点を適用する。

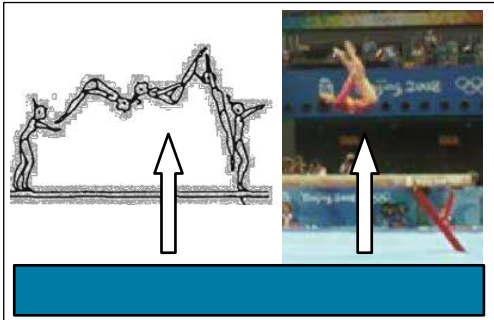


DVE-



DVC-

屈身宙返りにおける屈身姿勢の承認のためのガイドライン *ew*

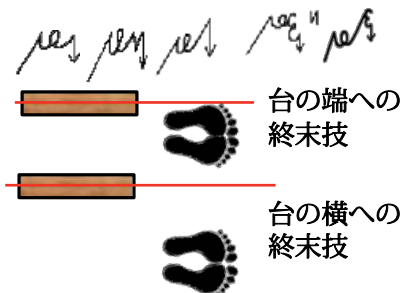


- ・踏み切りは上方向/後ろ方向でなければならない。
- ・重心の上昇が見られなければならない。
- ・宙返りのおおよそ最高地点で屈身姿勢に到達しなければならない。



台の端へ、ひねりを伴うまたは伴わないアウエルバッハ宙返り下り (#6.207, #6.307, #6.407, #6.507)

ひねりを伴うまたは伴わないアウエルバッハ宙返り下りは、台の端を通過し、足の一部が平均台の一直線上に沿って着地しなければならない。そうでなければ、台の横への終末技とみなされる。



ひねりを伴うすべてのアウエルバッハ宙返り下りは、アウエルバッハ伸身宙返りとみなされる。「伸身姿勢を保てない」(0.10/0.30)の実施減点が適用される。